

動物の診察室から

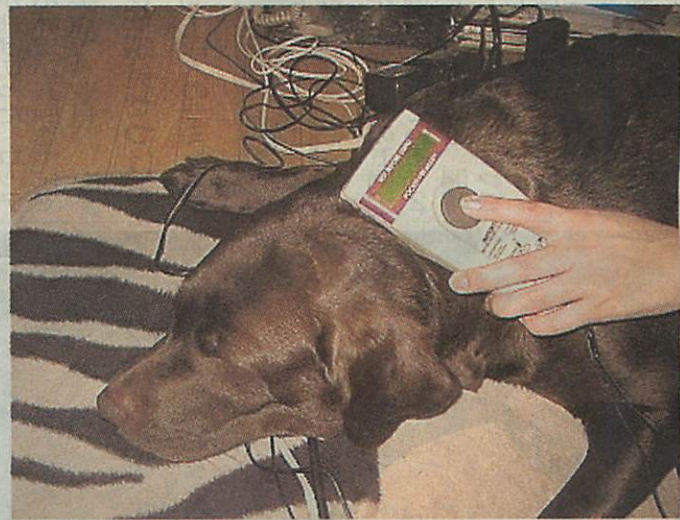
○ 4 ○

先日、交通事故の猫が通りがかりの方に保護され連れてこられました。頸椎の骨折で結局四日後に亡くなりましたが、その子猫から飼われていた猫かと思われまして。こんな時、この子猫にマイクロチップが使われていたらと思います。

マイクロチップとは、直径二ミリ、長さ十二ミリの細長いカプセル状の電子

表示器具で、それぞれのチップに異なる十五けたの番号が記録されています。このチップを、専用のインジェクターで、ペットの首の皮下に埋め込みます。この番号を専用の機器(リーダー)で読み取り、データベースに登録してある情報と照合することで、飼い主を探します。

マイクロチップ



体温を計測できるチップも。毎朝体温測定をすれば、愛犬の体調変化にすぐに気付くことができる

迷子の飼い主を即確認

新潟市内の動物病院では、ほとんどの病院で、マイクロチップとリーダーをそろえてあり、五千円〜六千円で装着できます。保健所でも、保護された動物にはリーダーで

チップが使われているかを調べています。動物が保護される場所として、あとは警察署がありますので、現在新潟市内の警察署へは、リーダーをそろえてほしいようにお願いしていただくので

す。

また、保護された動物だけではなく、不幸にして亡くなった動物たちへ

す。

本年度から、新潟市動物愛護協会では、「飼い主不明のメス猫の不妊助成」を行って

います。対象となる猫には手術の重複を避けるため、マイクロチップの埋め込みが行われます。詳細は、新潟市動物愛護協会のHPをご覧ください。  
http://www4.plai.a.or.jp/douai/index.html

